

事 務 連 絡
令和 6 年 11 月 14 日

関 係 各 位

厚生労働省医政局地域医療計画課
医療安全推進・医務指導室

「医療安全推進週間」の取組について（周知依頼）

医療安全行政の推進につきましては、平素より格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

医療機関や医療関係団体等における医療安全の取組促進及びこれらの取組について、国民の理解や認識を深めることを目的とし、毎年度 11 月 25 日を含む 1 週間を「医療安全推進週間」と定めております。

今年度の医療安全推進週間の取組として、下記のとおり行いますので、貴会会員や関係者に対する周知の御協力を賜りますようお願いいたします。

記

1. 患者・国民に向けた医療安全の普及啓発動画

患者・国民に医療のリスクに関する正しい理解を促すとともに、医療安全のための医療機関の取組を周知し、医療安全に向けた医療従事者との協働を呼びかける目的で、患者・国民向けの普及啓発動画を作成しました。

つきましては、次の厚生労働省公式 YouTube 及びダウンロード可能なサイトに掲載しておりますので、ご活用ください。

【厚生労働省公式 YouTube URL】

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLMG33RKISnWhHeCelrrOxIIjW2YJ1a3Y3>

【ダウンロード可能サイト URL】

https://mhlwlan.sharepoint.com/:f:/s/ExGeneral_5707/Ei29htYG1M9Kob3C2hREN9sBKu0cw3e5mYi4jJdQJEnk3A?e=1JKNP5

【YouTube】



【ダウンロードファイル格納先】



2. 「医療安全推進週間」に係るタイアップについて

「医療安全推進週間」の機会を活用し、国民に医療安全施策を周知するとともに、医療の安全性について患者・国民と医療関係者がともに考える契機をつくる目的で、映画会社の御協力により、令和6年12月6日より全国公開となる『劇場版ドクターX』と「医療安全推進週間」のタイアップポスター及びタイアップ動画を作成しました。

当省としましては、今般のタイアップを通じ、国民に「医療安全推進週間」が広く認知され、医療安全施策及び医療関係者の医療安全に向けた取組への理解が深まることを期待しております。

(1) タイアップポスター

① 電子配布ポスター（印刷用）

厚生労働省ホームページに掲載しておりますので、適宜印刷してご活用ください。

【ホームページ掲載先】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuanzen2023_00003.html

※ ポスターの掲示期間につきましては、令和7年1月末までとなります。

【ホームページ】



(2) タイアップ動画

『劇場版ドクターX』の主演俳優・米倉涼子さんが、医療安全への患者参画を呼びかける内容の啓発動画を作成しました（動画には『劇場版ドクターX』特報映像が含まれます）。

つきましては、次の厚生労働省公式YouTubeに掲載しておりますので、ぜひご視聴ください。

【厚生労働省公式 YouTube URL】

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLMG33RKISnWhHeCelrrOxIIjW2YJ1a3Y3>

【タイアップ動画】



(3) その他

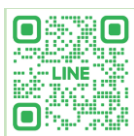
本ポスター及び動画の作成・配布は当省の施策の普及啓発を目的とするものであり、当省において映画の鑑賞を推奨するものではありません。

3. 医療事故調査・支援センターによる医療事故の再発防止策等（提言・動画）の配信について

令和6年10月9日より、医療事故調査・支援センターが「公式LINE」「an なび（Medsafe Japan 配信サービス）」による情報配信を開始しました。医療事故調査制度から得られた再発防止策（提言・動画等）等の、より一層の普及啓発に向けて、各医療機関や各医療従事者において活用されるよう周知方お願いいたします。

※ URL : https://www.medsafe.or.jp/modules/news/index.php?content_id=335

【LINE公式】



【an なび】



以上

令和6年度の「医療安全推進週間」を通じて伝えたいこと

厚生労働省地域医療計画課
医療安全推進・医務指導室

背景

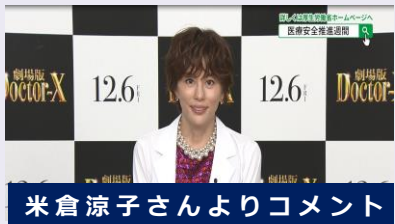
- ① 厚生労働省は「医療安全推進週間」において様々な関係者と取り組んできており、一定の成果はあるが**認知度が低く、医療安全自体の認知向上も未だ課題**
- ② 近年、**医療安全への患者の参画**の重要性が指摘されているが、患者側の知識向上も必要な状況。国民へのアンケート※では、
 - ・「医療安全において患者にも役割があると思う」「自らも取り組みたい」という声が多い
 - ・一方、「医療安全に参画するために必要な知識が、患者側に不足している」という声も多い
 (※令和4,5年度厚生労働行政モニターアンケート)

目的

- ① 「医療安全推進週間」の認知度を高め、患者側・医療側を含む国民全体の**医療安全への関心**をもっていただく
- ② **医療安全への参画に必要な知識**を国民に提供して**参画を促進**し、医療の安全・質の更なる向上を目指す

- ① 国民全体の**医療安全への関心**をもっていただく ➤ 『劇場版ドクターX』とタイアップ

タイアップの趣旨：決め台詞「私、失敗しないので」をもとに、「医療で“失敗しない”のは当たり前なのだろうか」と、患者側・医療側を含む国民全体で、**医療の安全について考えるきっかけ**をつくりたい。



みなさん、こんにちは。劇場版ドクターXで大門未知子を演じております米倉涼子です。医療の現場は常に危険や想定外と隣り合わせです。そんな中でも安全な医療を目指すためには、医療チームみんなの協力と、安全のための**“仕組みづくり”**が鍵なんです。また、最近は患者さんが医療の安全のために果たす役割にも注目されているんですよ。みなさんも、**医療の安全のこと、一緒に考えてみませんか。**



タイアップポスター

- ② **医療安全への参画に必要な知識**を国民に提供し、**医療安全への参画を促進**する

➤ 広報誌「厚生労働」11・12月号の特集

伝えたいこと



➤ 医療現場の取組の取材動画



普段、患者の目に触れることの少ない水面下の取組を密着取材
 ・患者の安全への医療現場の思い
 ・安全のための“仕組みづくり”
 ・安全のために患者ができること

- ・専門家が分かりやすく解説
- ・医療現場の取組を紹介
- ・Doctor-X×医療現場×行政のスペシャル対談

国民の皆さまへ

＜知っていただきたいこと＞

- ✓ **医療にどのようなリスク(危険性)があるのか**
 “回避できるもの”, “回避が難しいもの”を含めて、医療には様々なリスクがあります
- ✓ **リスクを減らすために、どのような取組があるのか**
 医療機関は様々な工夫や取組をしています
 ▶広報誌・動画で紹介した例：
 インシデント報告、医療安全の委員会、患者確認、検査報告書の組織的な確認
- ✓ **リスクを減らす取組に、患者が関わるとどんな効果があるのか**
 患者が参加・協力することで、医療安全の取組の有効性が向上します

＜実践していただきたいこと＞

- ✓ **回避が難しいリスクもあることを知り、納得した上で医療を受けましょう**
 合併症・副作用などについてもしっかりと説明を聞き、疑問や希望を伝え、主体的に方針決定に関わりましょう
- ✓ **リスクを減らす取組に参加・協力しましょう**
 医療機関の医療安全の取組に協力しましょう
 ▶広報誌・動画で紹介した例：
 患者確認への協力、受けた検査の結果の確認
- ✓ **“気付き”を声に出しましょう**
 症状や患者の“気付き”を積極的に伝えることが、リスクの管理（診断や情報共有の正確性の向上、合併症の早期発見など）につながります

関係者全員の協働で、医療を安全に

令和6年度の厚生労働省の取組

令和6年度の「医療安全推進週間」を通じて伝えたいこと

厚生労働省地域医療計画課
医療安全推進・医務指導室

背景

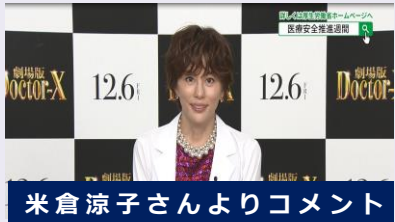
- ① 厚生労働省は「医療安全推進週間」において様々な関係者と取り組んできており、一定の成果はあるが**認知度が低く、医療安全自体の認知向上も未だ課題**
- ② 近年、**医療安全への患者の参画**の重要性が指摘されているが、患者側の知識向上も必要な状況。国民へのアンケート※では、
 - ・「医療安全において患者にも役割があると思う」「自らも取り組みたい」という声が多い
 - ・一方、「医療安全に参画するために必要な知識が、患者側に不足している」という声も多い
 (※令和4,5年度厚生労働行政モニターアンケート)

目的

- ① 「医療安全推進週間」の認知度を高め、患者側・医療側を含む国民全体の**医療安全への関心**をもっていただく
- ② **医療安全への参画に必要な知識**を国民に提供して**参画を促進**し、医療の安全・質の更なる向上を目指す

- ① 国民全体の**医療安全への関心**をもっていただく ➤ 『劇場版ドクターX』とタイアップ

タイアップの趣旨：決め台詞「私、失敗しないので」をもとに、「医療で“失敗しない”のは当たり前なのだろうか」と、患者側・医療側を含む国民全体で、**医療の安全について考えるきっかけ**をつくりたい。



みなさん、こんにちは。劇場版ドクターXで大門未知子を演じております米倉涼子です。医療の現場は常に危険や想定外と隣り合わせです。そんな中でも安全な医療を目指すためには、医療チームみんなの協力と、安全のための**“仕組みづくり”**が鍵なんです。また、最近は患者さんが医療の安全のために果たす役割にも注目されているんですよ。みなさんも、**医療の安全のこと、一緒に考えてみませんか。**



タイアップポスター

- ② **医療安全への参画に必要な知識**を国民に提供し、**医療安全への参画を促進**する

➤ 広報誌「厚生労働」11・12月号の特集

伝えたいこと



➤ 医療現場の取組の取材動画



普段、患者の目に触れることの少ない水面下の取組を密着取材
 ・患者の安全への医療現場の思い
 ・安全のための“仕組みづくり”
 ・安全のために患者ができること

- ・ 専門家が分かりやすく解説
- ・ 医療現場の取組を紹介
- ・ Doctor-X×医療現場×行政のスペシャル対談

国民の皆さまへ

＜知っていただきたいこと＞

- ✓ **医療にどのようなリスク(危険性)があるのか**
 “回避できるもの”, “回避が難しいもの”を含めて、医療には様々なリスクがあります
- ✓ **リスクを減らすために、どのような取組があるのか**
 医療機関は様々な工夫や取組をしています
 ▶ 広報誌・動画で紹介した例：
 インシデント報告、医療安全の委員会、患者確認、検査報告書の組織的な確認
- ✓ **リスクを減らす取組に、患者が関わるとどんな効果があるのか**
 患者が参加・協力することで、医療安全の取組の有効性が向上します

＜実践していただきたいこと＞

- ✓ **回避が難しいリスクもあることを知り、納得した上で医療を受けましょう**
 合併症・副作用などについてもしっかりと説明を聞き、疑問や希望を伝え、主体的に方針決定に関わりましょう
- ✓ **リスクを減らす取組に参加・協力しましょう**
 医療機関の医療安全の取組に協力しましょう
 ▶ 広報誌・動画で紹介した例：
 患者確認への協力、受けた検査の結果の確認
- ✓ **“気付き”を声に出しましょう**
 症状や患者の“気付き”を積極的に伝えることが、リスクの管理（診断や情報共有の正確性の向上、合併症の早期発見など）につながります

関係者全員の協働で、医療を安全に

令和6年度の厚生労働省の取組